

事業所名

障がい者多機能支援施設きらきらWITHYOU

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

23日

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|---|-----|----|-----|---------|----|---|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | きらきらは、だれもが安心して暮らせる地域社会をめざし、共にきらきりと輝く人生を送れるように地域福祉の発展に貢献する。 | | | | | | | | |
| 支援方針 | | 個性を大切に、一人一人に寄り添った丁寧なサポートを提供する。小さな成功体験を積み重ねながら、将来への自立へ向けた自己決定や自己表現する力を一緒に育んでいく。 | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 11時 | 30分 | から | 18時 | 30分 | まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 子どもたちが安全かつ快適に過ごせるよう、健康管理、生活リズムの安定、衛生管理、体位変換の支援を行っています。定期的な健康チェックや排泄・水分補給のサポートを行いながら、清潔な環境を維持し、無理のない生活リズムを整えます。さらに、適切なポジショニングや姿勢保持を行い、褥瘡や関節拘縮の予防に努めています。 | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 子どもたちの身体機能の維持・向上を目的に、運動や感覚刺激を取り入れた支援を行っています。姿勢保持や体位変換を通じて身体への負担を軽減し、無理のない範囲で心地よい動きを促します。また、感覚遊びやリラクゼーションを取り入れ、心身のリラックスを促します。 | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 子どもたちが安心して過ごせるよう、認知面や行動面の発達を支援しています。個々の興味や理解度に合わせた関わりを大切に、視覚的な支援やわかりやすい声かけを通じて、落ち着いて活動できる環境を整えます。また、日々の生活の中で成功体験を積み重ね、自信を育めるよう支援します。 | | | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | 自身の気持ちを表現し、周囲と安心して関われるよう、言語やコミュニケーションの支援を行います。視線や表情、ジェスチャーなどの非言語的な表現を大切に、一人ひとりに合った方法で意思を伝えられるようサポートします。また、やりとりの機会を増やし、楽しみながらコミュニケーションの幅を広げていけるよう支援します。 | | | | | | | | |
| | 人間関係社会性 | 子どもたちが社会性を育むために、集団ゲームや役割分担を通じて協力やルールを学びます。また、グループ活動の時間を活用して、自然な会話や交流を促進します。感情カードを使った活動で、感情の共有や相手の気持ちを理解する力も育んでいます。 | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 家族と連携し、定期的な情報交換を通じて子ども一人ひとりに合った支援方法を共有します。また、家族が安心して子どもを預けられるよう、相談窓口を設けてサポートします。 | | | | 移行支援 | | 重度心身障がい児への移行支援は、学校から成人期への移行だけでなく、生活スキルやコミュニケーション、社会参加を促す支援が重要であるため支援者と連携して生活環境を整え、段階的に自立をサポートすることで、無理なく次のステージへ移行できるよう支援します。 | | |
| 地域支援・地域連携 | | 関係する放課後等デイサービスや児童発達支援事業所、相談支援事業所、遠く別支援学校等と情報を共有し、密に連携することで、子どもたちに一貫した支援を提供し、地域全体でサポート体制を強化します。 | | | | 職員の質の向上 | | 定期的な研修やスキルアップの機会を提供し、専門知識や実践力を強化します。また、チームワークを重視し、情報共有や意見交換を促進することで、職員間の連携を深め、より質の高い支援が提供できるようサポートします。 | | |
| 主な行事等 | | 季節に合わせた行事 | | | | | | | | |